

令和5年9月6日

青少年の家サン・レイクの浴室におけるレジオネラ属菌の検出について

青少年の家サン・レイクの浴室の水質検査を実施したところ、基準値を超えるレジオネラ属菌が検出されました。

現在、全浴室の浴槽は使用を中止し、シャワーと洗い場のみ使用していただいています。

なお、浴槽以外の他の施設は通常どおりご利用いただけます。

レジオネラ属菌が原因で起こる感染症にはレジオネラ肺炎などがあります。症状としては通常2～10日間の潜伏期間を経て、全身倦怠感、頭痛、まれに悪寒、発熱、呼吸困難が引き起こされることがあります。

利用者の方で、このような症状のある方は、青少年の家サン・レイクまでご連絡いただけますようお願いいたします。

利用者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますこととお詫び申し上げます。浴槽の使用再開に向け、清掃・消毒を行い、再検査により安全を確認するとともに、衛生管理を徹底し再発防止に努めてまいります。

経緯及び対応状況

令和5年8月18日（金）	大浴室及び中浴室の各浴槽から採水
令和5年8月30日（水）	検査結果が判明 中浴室の浴槽において60CFU/100ml（不適合） ※検出されない（10CFU未満/100ml）が基準値 大浴室及び中浴室の浴槽を使用中止
令和5年8月31日（木）	8月18日以降29日までの中浴室利用者に対し、 団体代表者を通じて健康確認を依頼

令和5年9月5日までに健康被害は確認されていません。

お問い合わせ
青少年の家サン・レイク
担当者：福島、深田
電話：0853-67-9063